

令和2年度予算 予算編成過程の公表について

～各部予算要求状況の公表～

- ✓ 大田区では、区民への説明責任を果たし、また区政参画などを促すとともに、予算編成の質の向上を図るため、予算編成過程の公表に取り組んでいます。
- ✓ 令和2年度予算について、令和元年9月27日時点の各部の予算要求状況等を公表します。

1 令和2年度予算編成の基本方針

令和2年度は、喫緊の課題に対応するため策定した「おおた重点プログラム」を着実に推進することで、切れ目ない施策展開を図るとともに、「おおた未来プラン10年」の成果を踏まえて策定する新基本計画に繋げていく重要な年となります。

そのため、令和2年度予算は、これまでの実績を活かした課題解決を更に展開するとともに、「地域力を結集し、新しい世代の礎となる予算」と位置づけ、次の重点課題に特に優先的に取り組むこととしました。

- ① 安心して子どもを産み育てられ、未来を担う子どもたちの成長を応援する取組み
- ② 生涯を通して誰もが健やかに元気に暮らせるまちづくり
- ③ 住む人、訪れる人が、安全で安心して過ごせるまちづくり
- ④ 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした「おおた」の発展に向けた取組み

「令和2年度 予算編成、組織・職員定数の基本方針について（通知）」は、http://www.city.ota.tokyo.jp/kuseijoho/suuji/yosan_kessan/yosan/r02yosan/r02yosan_houshin.html（大田区ホームページ）をご参照ください。

2 予算編成の流れ

大田区の予算編成は、次の手順で行われます。

内 容	時 期
<p style="text-align: center;">■区長政策ヒアリング■</p> <p>「おおた未来プラン10年（後期）」での取組結果の検証を踏まえ、次年度予算編成等に反映するため、ヒアリングを実施します。</p>	7～8月
↓	
<p style="text-align: center;">■令和2年度予算編成の「基本方針」（副区長通知）■</p> <p>令和2年度の予算を作るための考え方を示した「基本方針」が副区長より示されます。</p>	7月下旬
↓	
<p style="text-align: center;">■各部における予算編成・予算要求■</p> <p>副区長通知に基づき、各部が新年度の実施事業等の必要な経費を見積もり、その内容や金額を予算を担当する企画経営部へ提出（予算要求）します。</p>	8月～9月
↓	
<p style="text-align: center;">■企画経営部内での調整■</p> <p>予算要求のあった事業内容について、必要性・緊急性、経費の妥当性等を検討し、各部と調整します。</p>	10月～11月
↓	
<p style="text-align: center;">■企画経営部長査定■</p> <p>各部長より予算編成方針及び要求内容を説明し、企画経営部長による査定を受けます。</p>	11月
↓	
<p style="text-align: center;">■区長査定■</p> <p>各部長より予算編成方針及び要求内容を説明し、区長による査定を受けます。</p>	12月
↓	
<p style="text-align: center;">■予算原案の内示■</p> <p>区長査定を経て、各部へ予算原案内示を行います。</p>	12月
↓	
<p style="text-align: center;">■追加・再要求■ ⇒ ■予算(案)確定■</p> <p>予算原案内示後に、各部から追加・再要求がある事業の予算査定を行い、予算(案)を確定します。</p>	1月
↓	
<p style="text-align: center;">■予算(案)の発表■</p> <p>予算(案)の内容を、区民の皆さまへ発表します。</p>	2月
↓	
<p style="text-align: center;">■予算(案)区議会審議・議決■</p> <p>予算(案)は区議会に提出され、審議・議決されて成立します。</p>	3月

3 令和2年度予算要求状況（令和元年9月27日時点）

（1）総括

《全会計》

令和2年度各部予算要求の規模は、一般会計2,934億円、特別会計1,415億円であり、総額は4,349億円となっています。

＜会計別予算要求額※歳出ベース＞

（単位：億円、％）

区 分	令和2年度 当初要求額	令和元年度 当初予算額	増減額	増減率
一般会計	2,934	2,819	116	4.1
特別会計	1,415	1,404	11	0.8
国民健康保険事業	673	681	△9	△1.3
後期高齢者医療	168	167	1	0.3
介護保険	574	555	19	3.5
全会計合計	4,349	4,223	127	3.0

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

《一般会計》

一般会計予算の令和2年度歳出要求額は2,934億円、令和元年度当初予算額に比べ116億円、4.1％の増となっています。

＜一般会計＞

（単位：億円、％）

区 分	令和2年度 当初要求額	令和元年度 当初予算額	増減額	増減率
歳入 A	2,788	2,819	△31	△1.1
歳出 B	2,934	2,819	116	4.1
財源不足額 C = A - B	△146	—		

※令和2年度当初要求額について、歳入においては、財政基金繰入金は計上していない。

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

《歳入・歳出の乖離（一般会計）》

各部要求時点での財源不足額（歳出－歳入）は、下記の図のとおり146億円となっています。

<歳入> (乖離) 146億円	<歳出> 歳出 2,934億円
歳入 2,788億円	

財源不足額の解消について、歳出においては緊急性・重要性、経費の妥当性を検討し、査定を経て、必要に応じて歳出額の精査を行います。

歳入においては、直近の景気動向を把握し、基幹財源である特別区税や特別区交付金等を的確に予算へ反映させます。

上記を踏まえ、財政基金からの繰入額や特別区債の発行額等を確定させます。

(2) 歳入 (款別)

(単位：百万円、%)

	款	令和2年度 当初要求額	令和元年度 当初予算額	増減額	増減率
1	特別区税	76,069	75,301	768	1.0
2	地方譲与税	2,130	2,130	0	-
3	利子割交付金	277	277	0	-
4	配当割交付金	1,189	1,163	26	2.2
5	株式等譲渡所得割交付金	963	941	22	2.3
6	地方消費税交付金	14,941	14,180	761	5.4
7	自動車取得税交付金	0	199	△199	△100.0
8	環境性能割交付金	119	60	59	99.7
9	地方特例交付金	523	523	0	-
10	特別区交付金	72,971	75,940	△2,969	△3.9
11	交通安全対策特別交付金	61	61	0	-
12	分担金及び負担金	2,445	3,546	△1,101	△31.1
13	使用料及び手数料	8,384	8,685	△301	△3.5
14	国庫支出金	51,186	48,612	2,574	5.3
15	都支出金	22,627	20,376	2,251	11.0
16	財産収入	1,340	638	702	110.0
17	寄附金	413	388	25	6.5
18	繰入金	8,012	14,353	△6,341	△44.2
19	繰越金	2,000	2,000	0	-
20	諸収入	7,454	6,818	636	9.3
21	特別区債	5,700	5,700	0	-
	合計	278,804	281,892	△3,088	△1.1

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

※令和2年度当初要求額について、歳入においては、財政基金繰入金は計上していない。

(3) 歳出 (款別)

(単位：百万円、%)

款		令和2年度 当初要求額	令和元年度 当初予算額	増減	
				増減額	増減率
1	議 会 費	1,130	1,119	11	1.0
2	総 務 費	40,368	46,417	△ 6,049	△13.0
3	福 祉 費	157,007	153,397	3,610	2.4
4	衛 生 費	8,738	9,400	△ 662	△7.0
5	産 業 経 済 費	6,163	4,716	1,447	30.7
6	土 木 費	20,819	20,718	101	0.5
7	都 市 整 備 費	8,680	6,041	2,639	43.7
8	環 境 清 掃 費	10,803	10,485	318	3.0
9	教 育 費	34,709	25,820	8,889	34.4
10	公 債 費	4,487	3,046	1,441	47.3
11	諸 支 出 金	243	433	△ 190	△43.9
12	予 備 費	300	300	0	-
合 計		293,446	281,892	11,554	4.1

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

(4) 歳出 (部局別)

(単位：百万円、%)

部 局 名	令和2年度 当初要求額	令和元年度 当初予算額	増減	
			増減額	増減率
企 画 経 営 部	7,928	7,453	475	6.4
総 務 部	48,050	50,789	△ 2,739	△5.4
地 域 力 推 進 部	6,177	5,031	1,145	22.8
観 光 ・ 国 際 都 市 部	4,202	3,870	333	8.6
区 民 部	17,287	16,717	570	3.4
産 業 経 済 部	5,721	4,371	1,350	30.9
福 祉 部	71,085	70,649	436	0.6
健 康 政 策 部	6,908	7,635	△ 726	△9.5
こ ど も 家 庭 部	57,267	54,308	2,959	5.4
ま ち づ くり 推 進 部	5,376	4,132	1,244	30.1
空 港 ま ち づ くり 本 部	352	174	178	102.1
都 市 基 盤 整 備 部	20,442	23,250	△ 2,808	△12.1
環 境 清 掃 部	8,160	7,782	378	4.9
会 計 管 理 室	93	76	17	22.2
教 育 総 務 部	33,106	24,088	9,018	37.4
選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局	313	590	△ 277	△46.9
監 査 事 務 局	14	13	0	0.3
議 会 事 務 局	964	963	0	0.0
合 計	293,446	281,892	11,554	4.1

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

4 各部からの予算要求状況

公表対象事業は、一般会計における「おおた重点プログラム事業」としてしています。

今回は、令和元年9月27日時点の各部からの予算要求状況を公表します。なお、企画経営部長査定後要求額、区長査定（予算（案））の経過の公表については、令和2年2月中旬を予定しています。

《資料の見方》

各部から企画経営部に提出された、当初要求額を記載しています。

【□□費】 (単位:千円)

担当部	事業名	当初予算要求内容	当初要求額	企画経営部長 査定後要求額	区長査定 2予算(案)	査定 区分	令和元年度 当初予算額	増減 (2当初要求 -元当初)
〇〇部	〇△×□事業	〇〇〇〇〇	〇〇				△△	××

企画経営部長査定後要求額及び区長査定後の金額を記載します。
※現段階では、空白となっています。

査定理由を3つの類型に分けて記載します。
※現段階では、空白となっています。

※査定区分は、以下の3つに類型します。

査定区分

査定区分	理由
A	要求どおり (部からの当初要求額及び事業内容どおり認める)
B	内容精査(増額を含む) (事業手法、実施時期、単価、数量、回数、箇所数など事業内容を精査したもの)
C	要求を認めない(要求内容の一部を認めないものを含む) (事業の再精査等が必要なため、実施を先送りしたものなど)